



モスリンピック (中学部)



モスクワ日本人学校

しらかば

第12号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数122名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

挑戦する勇気をふくらませる

校長 石川 賢

立春を過ぎ、いよいよ平成三十年度も大詰めを迎えました。中学部二年生の通信には、生徒一人一人の学年末テストに向けた目標が掲載されていました。「後悔しない結果を残す」「自己最高点をとる」「少しの間でコツコツやる」等々。その一字一文字からそれぞれの意気込みが伝わってきます。

「よちよち歩き」を始めようとする子どもと、それを見守る周りの大人たちの振る舞いは、多くの示唆を与えてくれます。

昨日までは這って移動していた子どもが、お尻を上げて両足で立とうとしています。周りの大人は、そのことを見逃さず、「上手、上手」と、子どもの意欲をかき立てる声をかけます。失敗してお尻をついても、優しく見守り、また、「上手、上手」と励まします。ときには、両手をとつ

て一緒に歩きます。これを何度も繰り返し、歩くことができるようになるまでつき合います。そして、たとえばいながらも一人で歩くことができるようになったとき、いい顔で拍手をしたり、抱き上げたりして喜び合います。

ここには、人が人を育てることの原点があります。「ほめる」「やってみせる」「できるまでつき合おう」「喜び合う」ことは、学校教育でも大切にしなければなりません。そういった接し方が、新しいことに挑もうとする子どもの意欲を引き出し、勇気をふくらませていくからです。

どの学級でも振り返りを大切にしながら学習を進めています。それは、子どもが、自分の頭で考え表現することを通して自身の成長を自覚し、自尊感情を高める時間でもあります。次なる飛躍へ欠かせない時間です。

モスクワの冬を楽しむ